



# 85th Business Report

第85期 株主通信

[2025年4月1日～2026年3月31日]

証券コード：1869

# 株主の皆様へ



代表取締役社長  
鈴木 広士

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの第85期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）の決算が確定いたしましたので、事業の概況と業績につきまして、ご報告させていただきます。

当連結会計年度における我が国経済は、米国の追加関税の影響を受けて外需は駆け込みとその反動から一進一退となったものの、好調な賃上げを背景に個人消費が持ち直し、設備投資も企業業績の改善に支えられて堅調に推移するなど、内需を中心に緩やかな回復が続きました。一方で、年度末にかけては中東地域における緊張の長期化により原油価格が不安定となり、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

建設業界においては、堅調な公共投資と民間設備投資に支えられ、安定的に推移しました。一方で、建設コストの高止まりによる影響、担い手の確保や長時間労働の解消などへの対応が急務となっており、企業業績への好材料は限定的と言わざるを得ない状況が続いております。

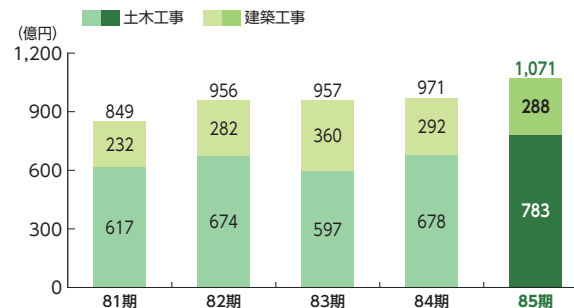
当連結会計年度における当社グループの業績は、受注高は前期比10.3%増の107,163百万円、売上高は前期比4.1%増の96,953百万円となりました。利益面では、経常利益は前期比17.5%増の8,121百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比15.1%増の5,969百万円となりました。

今後とも社会基盤の発展を支える企業としての責務を自覚し、「安全・信頼」を大切に事業に邁進することで、一層の企業価値向上に努めてまいります。

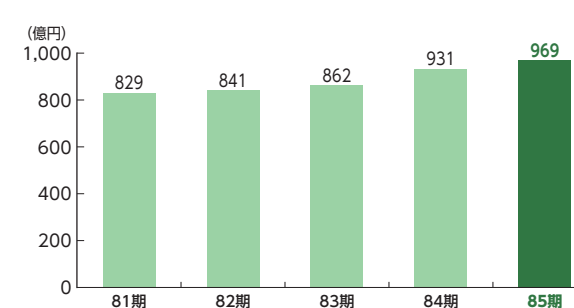
株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 連結業績ハイライト

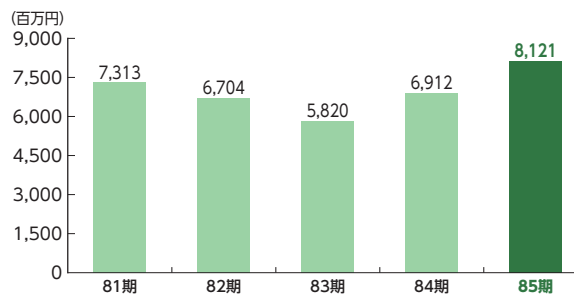
## ●受注高



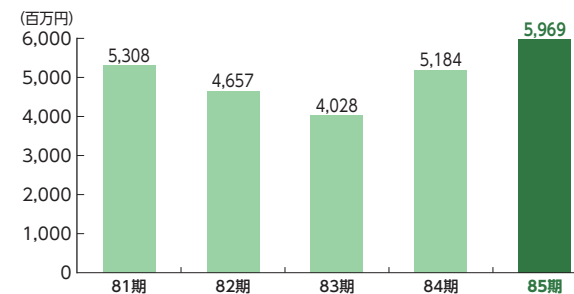
## ●売上高



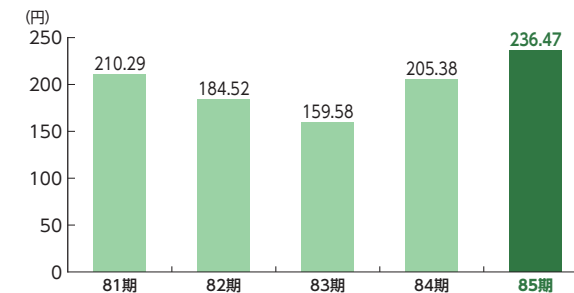
## ●経常利益



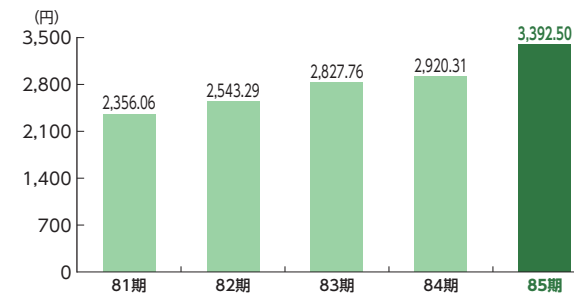
## ●親会社株主に帰属する当期純利益



## ●1株当たり当期純利益



## ●1株当たり純資産額



## ■ 配当について

当社は安定収益を確保して、株主資本の充実や設備投資に備えた内部留保を行いながら、累進配当を継続し、配当性向については2027年3月期（「第19次経営計画」最終年度）に30%程度、2030年3月期（「第20次経営計画」最終年度）に50%程度を目標とすることを基本方針としておりますが、当社グループの当期の業績や今後の事業展開を総合的に勘案し、1株当たりの配当は年58円に増配いたします。

当期の期末配当は2026年6月5日を配当支払い開始日として1株当たり37円とし、中間・期末合計で年58円の配当を実施いたしました。

# 主な部門別の概況

## 土木部門

受注高

**78,346**百万円 前期比 **15.4%**増 

売上高

**63,251**百万円 前期比 **1.0%**増 

- 受注高につきましては、官公庁工事・民間工事ともに大型物件の受注もあり、前期比10,465百万円（15.4%）増の78,346百万円となりました。
- 売上高につきましては、官公庁工事は減少しましたが、前期繰越が豊富であった民間工事が増加し、前期比647百万円（1.0%）増の63,251百万円となりました。

## 当期の主な完成工事



総合治水対策特定河川工事（大山川調節池本体1号工）  
（ICT指定・週休2日・環境整備・遠隔臨場）



大野油坂道路道場切橋他下部他工事



道の駅周辺整備工事（東ゾーン）



善福寺川整備工事

## Topics

## 国道247号西知多道路事業について

本事業は、愛知県知多半島において中部国際空港と名古屋都市圏を結ぶ自動車専用道路網を形成し、知多地域における交通の円滑化を図ることを目的とした高規格道路の新設が進められている事業であります。当社は知多横断道路とのジャンクションを整備する工事を担当し、2024年4月より着手してまいりました。

本工事は、供用中の道路に近接して下部工を構築する工事であったため、施工には高度な安全管理が求められました。また、一般交通を切替ながらの工種も多く、綿密な工程管理と施工管理が必要となりました。これまで培ってきた安全施工技術に加え、DX技術などの先進的な取り組みを活用し、安全の確保を最優先とするとともに、構造物の品質向上に注力しながら工事を進め2026年3月に無事完成いたしました。

今後も当社は、工事を通じて地域に貢献するとともに、社会基盤づくりに取り組んでまいります。



## 下部工完成全景（起点側より）



# 主な部門別の概況

## 建築部門

受注高

**28,816**百万円 前期比 **1.5%**減

売上高

**32,492**百万円 前期比 **10.5%**増

- 受注高につきましては、官公庁工事にて大型物件の受注があったものの、前期に民間工事にて大型物件を受注した反動があり、前期比426百万円（1.5%）減の28,816百万円となりました。
- 売上高につきましては、官公庁工事・民間工事ともに増加し、前期比3,083百万円（10.5%）増の32,492百万円となりました。

## 当期の主な完成工事



港サッカー場改修工事（CCUS活用推奨）



コンドーテック（株）大阪本社社屋及び倉庫新築工事



清須市役所庁舎増築・改築工事



稲永スポーツセンター改修工事

## Topics

## 「(仮称)五反田新ビル建設工事」着工

2025年12月1日、東京都品川区東五反田において、新生テクノス株式会社東京地区拠点ビルの新築工事に着工しました。本工事は、設計から施工までを当社が一貫して担当するプロジェクトであり、これまで培ってきた設計力・施工力と実績を活かし、安全第一のもと、高品質な建物の完成に向けて着実に工事を進めております。

また、本計画では、基本設計コンセプトであるBCP（事業継続計画）に基づき、対策本部機能の維持や水害対策などを講じ、災害時においても事業継続と拠点機能を確保できる設備・構造を備えた設計としております。

### ●施工状況



### ●完成イメージ



# 経営計画

## 【第19次経営計画（2024年度～2026年度）の進捗状況】

### ■目指す企業像

「安全と技術の名工」「社員が誇れる企業」

### ■スローガン

『挑戦、未来へ 4つのC』

### ■経営目標

「信頼（Confidence）：安全・品質の追求と社会的責務の遂行」

「競争力（Competitiveness）：受注確度の向上と顧客の多様なニーズへの対応」

「実行力（Capability）：変化を乗り越える技術力と機動力の発揮」

「挑戦（Challenge）：未来に向けて」

### ■「第19次経営計画」数値目標の見直し

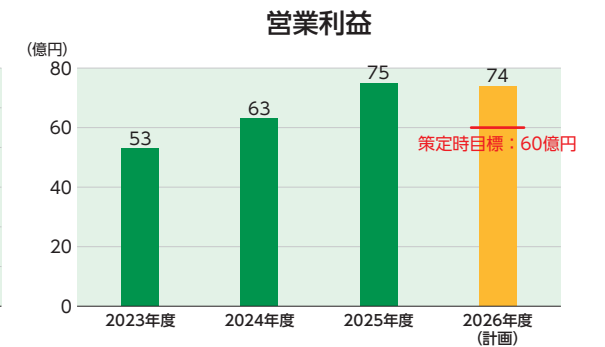
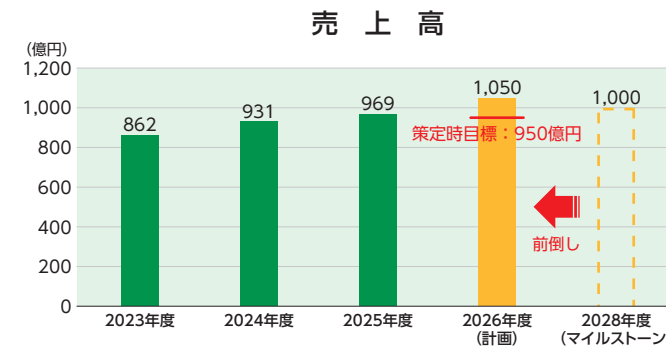
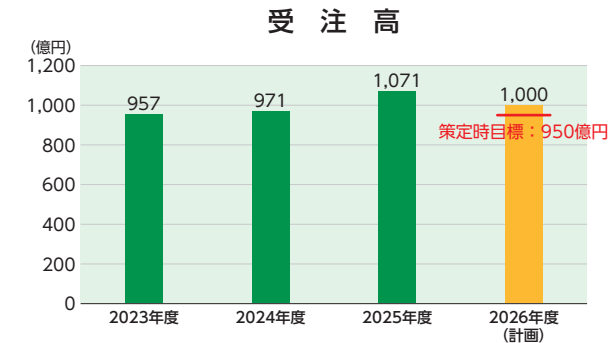
受注が順調に推移し、生産性向上に向けた取組みが着実に進んでいることから、「第19次経営計画」に掲げる計画最終年度（2026年度）の数値目標及び、マイルストーンの売上高1,000億円達成目標時期を見直すことといたしました。

なお、マイルストーンの売上高1,200億円達成の目標時期は、第20次経営計画（2027～2029年度）において改めて設定することとしています。

### ■経営計画の最終年度（2026年度）の数値目標

受注高	1,000億円
売上高	1,050億円
営業利益額	74億円

### ■数値目標の進捗状況

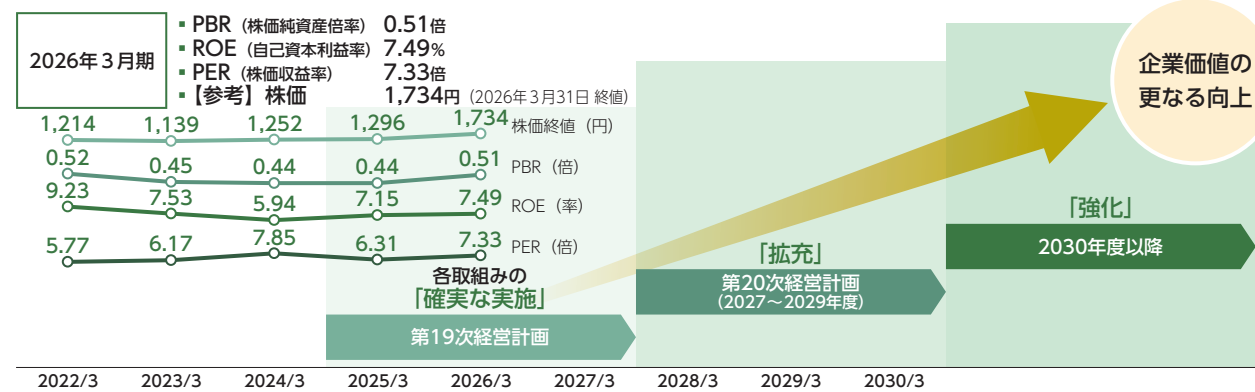


# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

当社は、持続的な成長と企業価値の向上を実現するべく、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」を策定するとともに、配当政策における目標配当性向を変更いたしました。

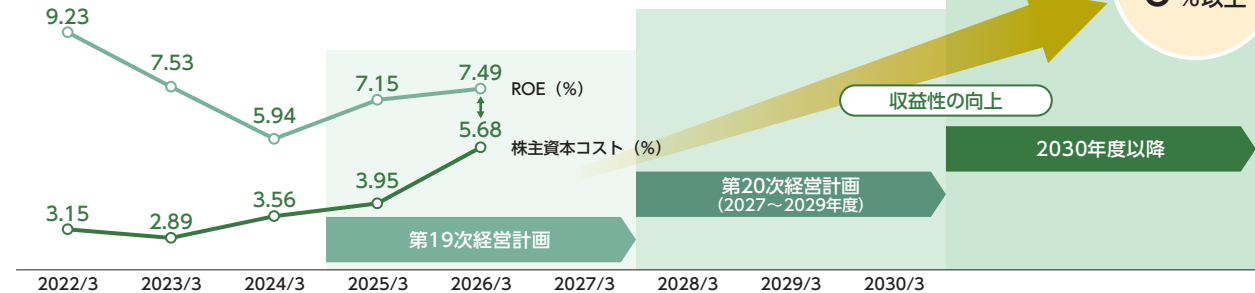
## I. 現状認識と今後の方針

現状、**企業価値の更なる向上**には、各取組みの工夫が必要と認識。そのために、各取組みの「**確実な実施**」、「**拡充**」、「**強化**」によるステップアップを目指す。



## II. 株主資本コストとROE

現時点の**株主資本コスト**は**5.68%**と認識\*。ROE 8%以上を目標に**収益性の向上**を目指す。



\*【CAPM (資本資産評価モデル) により算定】株主資本コスト =  $R_f$  (リスクフリーレート) +  $\beta$  (当社の値動き) × ERP (エクイティリスクプレミアム)  
 【当社の状況】株主資本コスト (5.68%) =  $R_f$  (2.32%) + 修正  $\beta$  値 (0.52) × ERP (6.45%)  
 【試算条件】  
 ・  $R_f$  (リスクフリーレート) : 10年国債利回り 2.32% (2026/3/31時点の新築10年国債複利終値基準)  
 ・  $\beta$  値 (当社の値動き) :  $\beta$  値の回帰性を考慮し修正  $\beta$  値 0.52と試算 (修正  $\beta = 2/3 \times \beta + 1 \times 1/3$ 、修正前  $\beta = 0.2796$ )  
 ・ ERP (エクイティリスクプレミアム) : 計算期間は1972年~2025年 6.45%

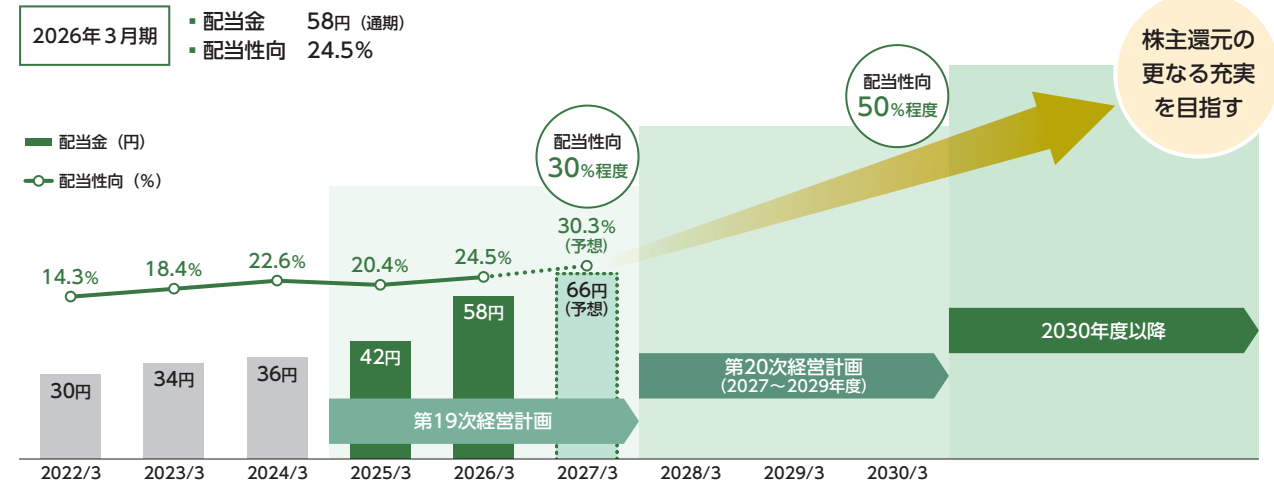
## III. 企業価値の更なる向上

各取組みの「**確実な実施**」、「**拡充**」、「**強化**」により、**企業価値の更なる向上**を目指す。



## IV. 株主還元の充実

累進配当を継続する。配当性向は、**2027年3月期に30%程度**、**2030年3月期に50%程度**を達成する。その後、**株主還元の更なる充実**を目指す。



# 総合技術研修センター

## 次世代の人材を育てる総合技術研修センターが開所



全体写真

当社は、「安全と技術の名工」を目指す企業像を掲げ、これまで培ってきた安全・技術を将来にわたり高いレベルで提供するため、人材育成を重要な経営課題と位置づけています。その取組みの一環として、2026年4月に愛知県春日井市に「総合技術研修センター」を開所しました。

日本最大級の木造研修施設となる本施設には、実物大モックアップや実習用線路、宿泊機能を備え、「学び知り、見て触れて、やって体感する」実践的な研修環境を整備しています。現場同様の学びや失敗体験を通じて安全意識と技術力の向上を図り、将来を支える次世代の人材育成に取り組んでまいります。

### ◆「総合技術研修センター」の主な特徴

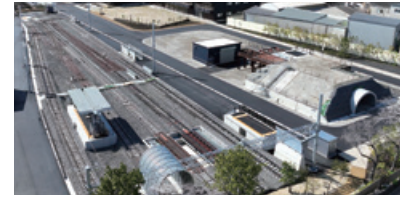
#### ①日本最大級の木造研修施設による「良質な学習環境」

最上級品質の木材（特一等材料）を適材適所に使用した日本最大級の木造研修施設です。環境負荷低減に貢献するとともに、木のぬくもりを感じられる落ち着いた空間で、集中力と創造性を高める良質な学習環境を提供します。



#### ②実践的な実習設備による「技術の体感」

建設途中の現場を再現した鉄筋コンクリート造・鉄骨造のモックアップや、総延長700m超の本格的な軌道実習線を設置しました。図面や座学だけでは得られない現場のリアリティを安全な環境で「見て、触れて、体感」し、確かな技術の習得を図ります。



#### ③対話を生む生活棟との連携

「部門を超えた社員同士の繋がりと絆をはぐくむ場所」を目指した生活棟を併設しました。

部門や世代の異なる多様な人たちが集い、リラックスした環境で活発なコミュニケーションを図ることで、情報共有と連帯感を高め、組織全体の技術力底上げを支えます。



### 初めての新入社員研修

当施設開所後、初めてとなる新入社員研修を実施しました。新入社員は新たな環境のもと、社会人としての基礎や心構え、専門的な技術についても学び、交流を深めながら前向きに研修に取り組んでいます。今後も当施設を活用し、次世代の人材育成に注力してまいります。



### 施設概要

所在：愛知県春日井市高蔵寺 敷地面積：約25,600㎡  
建築面積：約5,100㎡ 延べ面積：約7,200㎡  
構造：実習棟（木造（一部：RC造））、生活棟（木造）  
階数：地上2階  
開設：2026年4月

### 特設ページのご案内

ホームページにて、総合技術研修センターの施設概要がご覧いただけます。

<https://www.meikokensetsu.co.jp/learning-center/>



## リニア中央新幹線 山梨県駅（仮称）の新設工事を受注

東海旅客鉄道株式会社が建設を進めているリニア中央新幹線の工事計画において、名工建設・鉄建建設・早野組共同企業体がリニア中央新幹線 山梨県駅（仮称）の新設工事を受注いたしました。

2026年3月11日には、建設予定地である山梨県甲府市内において工事の安全祈願祭・起工式が開催され、神事のほか、当社 松野社長が施工者を代表して東海旅客鉄道株式会社丹羽俊介社長と共に鍬入れを行い、工事の安全を祈願いたしました。

山梨リニア実験線関連工事や山梨県内あかり区間での高架橋新設工事など、これまで培ってきた工事実績を活かし、リニア中央新幹線の開業に向けた重要拠点となる本工事の完遂に向け全社一丸となって取り組んでまいります。



JR東海 丹羽社長、当社 松野社長（提供：JR東海）



外観イメージ図（提供：JR東海）

## 会社概要

商号	名工建設株式会社
英文商号	MEIKO CONSTRUCTION CO.,LTD.
設立	1941年6月28日
資本金	15億9,450万円
従業員数 (連結)	1,235名 (2026年3月31日現在)
本店所在地	名古屋市中村区名駅一丁目1番4号 JRセントラルタワーズ34階
支店	東京支店・静岡支店・甲府支店・名古屋支店・ 大阪支店・北陸支店

## 株式の状況 (2026年3月31日現在)

発行済株式の総数	株主総数	
27,060千株	2,554名	
大株主		
株主名	持株数 (単位：千株)	持株比率 (単位：%)
東海旅客鉄道株式会社	2,139	8.47
名工建設社員持株会	1,752	6.94
株式会社三菱UFJ銀行	1,200	4.75
株式会社北陸銀行	913	3.61
株式会社みずほ銀行	806	3.19
岡谷鋼機株式会社	684	2.71
東鉄工業株式会社	524	2.07
日本生命保険相互会社	511	2.02
興和株式会社	500	1.98
東邦瓦斯株式会社	500	1.98

※自己株式（1,816千株）を除く

## 取締役及び監査役

(2026年6月26日現在)

代表取締役社長	鈴木 広士 ※
取締役	奥村 由政
取締役	落合 弘
取締役	橋本 洋 ※
取締役	川越 正啓
取締役	関戸 淳二 ※
取締役	梅田 博志 ※
取締役	丹羽 慎治
取締役	前川 宏一
常勤監査役	堀場太民夫
常勤監査役	松永 靖
監査役	山田 淳
監査役	市川弥生次

※印は、第85回定時株主総会で新たに選任された役員です。

## ホームページのご案内

ホームページにて当社の企業情報を随時公開しております。施工実績、技術紹介など各種情報のほか、IR情報のページでは決算短信などもご覧いただけます。

<https://www.meikokensetsu.co.jp/>

名工建設

検索



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告の方法	電子公告の方法により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載します。 電子公告掲載URL <a href="https://www.meikokensetsu.co.jp/ir/koukoku">https://www.meikokensetsu.co.jp/ir/koukoku</a>

## お知らせ

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



名古屋市中村区名駅一丁目1番4号 JRセントラルタワーズ34階  
電話 052-589-1501



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

